



りんご生産情報

令和3年11月30日発表

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

令和3年産りんごの生産概況

1 気象（黒石：りんご研究所）

(1) 積雪深

積雪深は12月中旬～1月中旬及び2月下旬に一時平年並または平年を上回って推移したものの、それ以外の期間は平年を大きく下回った。最深積雪は2月27日の74cmで平年（97cm）を下回った。3月の気温が高めに推移したことから、消雪日は3月21日と平年（3月28日）より7日早かった。

(2) 気温

4月下旬、5月下旬、8月中旬、9月上中旬及び10月中旬を除き、平年並から高く推移し、真夏日は計27日、猛暑日は計2日（8月3日に35.0℃、8月6日に35.5℃）観測した。3月の最低気温及び平均気温、9月下旬の最高気温は観測史上第1位に高かった。

(3) 降水量

降水量は5月及び10月を除き、平年並から少なく推移した。特に、6月から9月までの総降水量は245.5mm（平年比54%）と観測史上第1位に少なかった。

(4) 日照時間

5月下旬、8月中下旬及び10月中旬を除き、平年並から多く推移した。特に、6月は平年比134%、7月は平年比158%と多く、4月から10月までの総日照時間は1,333.9時間（平年比113%）と多かった。

2 生育ステージ（発芽～落花）

黒石でのふじの発芽日は、平年より8日早い3月30日、展葉日は11日早い4月7日であった。開花日は、平年より4日早い5月3日、満開日は平年より4日早い5月8日、落花日は平年より3日早い5月13日であった。

五戸（りんご研究所県南果樹部）でのふじの発芽日は、平年より9日早い3月29日、展葉日は平年より7日早い4月12日であった。開花日は平年より8日早い5月1日、満開日は平年より6日早い5月7日、落花日は平年より6日早い5月13日であった。

3 開花・結実と着果状況

4月の降霜により花器に障害が見られる地域や園地が見られたものの、開花量はいずれの品種も確保された。結実状況は、地域や園地によっては中心果の欠落など障害が見られたものの、総じて結実量は確保された。

着果状況は、7月13、14日に県が行った調査結果では、つがる37.6%、ジョナゴールド34.9%、王林36.5%、ふじ33.4%で、園地によるバラツキがあるものの、いずれの品種も標準着果率を上回っていた。

4 果実肥大（横径）

開花が平年より早かったことから、黒石における6月1日時点の果実横径は、つがる2.2cm（平年比116%）、ジョナゴールド2.5cm（平年比125%）、ふじ2.1cm（平年比131%）で、いずれの品種も平年を上回り、初期生育は概ね順調に推移した。7月から8月上旬の高温と乾燥により、肥大が鈍化傾向となったが、最終調査時には、つがる9.1cm（平年比102%）、ジョナゴールド9.7cm（平年比103%）、ふじ9.0cm（平年比101%）といずれの品種も平年をやや上回った。

各地域県民局の県生育観測ほのふじは、弘前市で平年をやや下回ったものの、板柳町、三戸町では平年並であった。

5 収穫期

黒石での果実熟度の進みは、早生品種は平年より7日程度早く、中生品種及び晩生品種は平年より3日程度早かった。

収穫始めは、つがるが9月3日頃、トキが9月30日頃、早生ふじが10月1日頃、ジョナゴールドが有袋果で10月10日頃、無袋果で10月12日頃、ふじが有袋果で10月27日頃、無袋果で11月1日頃であった。

6 果実品質（黒石：りんご研究所）

つがるは、平年に比べて糖度は高く、硬度、酸度及び着色指数は同程度、ヨード反応はやや低かった。

トキは、硬度、糖度及び酸度は同程度、ヨード反応及び表面色指数はやや低かった。

ジョナゴールドは、糖度は高く、硬度及び着色指数は同程度、ヨード反応指数はやや低く、酸度は低かった。

ふじの有袋果は、糖度は高く、ヨード反応は同程度、硬度、酸度及び着色指数は低かった。無袋果は、糖度は高く、ヨード反応はやや高く、硬度及び着色指数はやや低く、酸度は低かった。

7 主要病害虫の発生状況

(1) 病害

発生時期は、モニリア病の葉腐れ及び褐斑病が平年より早く、モニリア病の実腐れ及び黒星病は平年並、斑点落葉病は平年よりやや遅かった。

病害の発生は少なかったものの、腐らん病がやや多く、炭疽病が散見された。

(2) 害虫

発生時期は、ミダレカクモンハマキ越冬卵のふ化がやや早く、クワコナカイガラムシの越冬世代幼虫の移動は平年並、キンモンホソガの羽化は早かった。モモシンクイガの成虫羽化の初発日は早く、産卵の初発日及び成虫羽化の終息日は平年並、産卵の終息日は遅かった。

虫害の発生は少なかったものの、ハダニ類、アブラムシ類がやや多かった。また、モモシンクイガは少なかったが、管理が不十分な園地周辺の一部において被害果が確認された。

8 生理障害等

ジョナゴールドや王林などでビターピットの発生が目立った。
ふじのつる割れの発生は例年より少なかった。

9 気象災害

4月に降霜による花器の障害が弘前市や南部町などで見られた。

6月22日に弘前市の一部地域で降ひょう被害があった。

8月上旬の記録的な猛暑により、県内各地で早生品種を中心に日焼け果が見られた。

※令和4年りんご生産情報第1号は、令和4年4月上旬に発表予定。